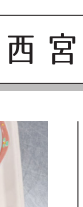
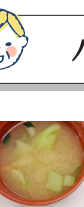
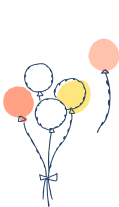




ウエルグループの新入社員研修

従業員自身と利用者様の幸せを
実現できる人材へ



行事食ではちらし寿司や握り寿司、ケーキなど彩り豊かなメニューを提供。



日々のお食事は、ウエル清光会のブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。



あっさり系の定番メニュー「冷やし中華」。食欲が落ちるこの季節の人気メニュー。



タンパク質を摂れる魚と野菜に大根おろしとレモンであっさりとした味わいに。魚の身もしっとりとして食べやすくなります。

夏本番を乗り切るための
体づくりを

夏本番を迎える前のこの季節にしっかりと食事、体を整えておくことが大切です。

パセム西宮

事業所
PICK
UP

グループホーム 宝塚清光苑

■定員:18名(9名×2ユニット) ■兵庫県宝塚市仁川団地4-15 ■0798-51-5510



音楽療法で認知症にアプローチ



音楽療法士による

歌・リズム体操

グループホーム宝塚清光苑には、兵庫県認定の「音楽療法士」を取得した職員が在籍し、日々のレクリエーションに音

楽療法を取り入れています。ピアノの演奏に合わせて歌を歌い、リズム体操をしながら楽しく頭と体を動かすことで、「記憶の呼び覚まし」や「リラックス効果」、声を出すことによる「嚥下機能の維持・回復」などさまざまな効果が期待できます。中には、音楽療法が始まるとパツと目を覚まされ、大きな声で生き生きと歌われる方もいらっしゃり、昼間の覚醒状態の維持にも役立っています。フロアの雰囲気明るくなるため、様子をご覧になったご家族も安心され、「回数を増やしてほしい」というリクエストもいただいています。

レクリエーションの時間以外でも、フロアにいらっしゃる方には時間の許す限りお声がけをして、時には個人セッションのような形で一緒に歌を歌うこともあります。認知症の状態を音楽療法士が確認し、お一人おひとりに合った手法や選曲を的確に判断できることが特徴です。また、音楽を嫌がる方がフロアにいらっしゃる間は実施を控えるように配慮しています。



季節感を意識したレクリエーションも

レクリエーションでは、季節感も大切にしています。たとえば、散歩中に拾い集めた落ち葉をおやつ箱に入れて「宝探し」をしたり、夏の花火やスイカ割りにもプラスアルファの工夫を加えたりと、利用者様の刺激になるような企画を考えています。今後は、タンバリンなどの楽器を取り入れて利用者様に振っていただくなど、音楽療法とレクリエーションの内容をさらに充実させていきたいと考えています。



ご家族と二人三脚でご希望によりそう

グループホーム宝塚清光苑は職員の定着率が高くベテランの職員が多いため、フロアの雰囲気は穏やかで、利用者様が安心できる環境が整っています。職員一同が常に心がけていることは、「利用者様ファースト」。ご本人が嫌がることを無理強いせず、「急がば回れ」をキーワードに、焦らず、優しい声かけを意識しています。時間がかかったとしてもできることはご本人に行っていただき、残存能力の維持を目指しています。私たちの役割は、ご家族との二人三脚で利用者様の安全、安楽を守ることです。「終の住処にしたい」「医療サービスを使いながら長生きしてほしい」など、ご家族ごとに異なるニーズによりそい、健康面や精神面などの日々の様子に加え、将来像もご家族と共有。必要に応じて特別養護老人ホームなど施設内の別のサービスにもつなげながら、望まれる将来の実現に向けて貢献してまいります。

入所系・通所系サービスのご相談は、下記の事業所へ直接ご連絡ください。QRコードから、それぞれの連絡先をご覧ください。

ウエルグループ

豊中市

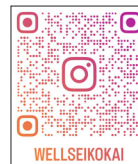
- ①清光苑【特】
- ②利倉清光苑【地/デ/グ/小/定】
- ③美豊苑【特/ケ】
- ④刀根山美豊苑【地/デ】
- ⑤輝豊苑【デ/グ】
- ⑥ウエルケアプランセンター

- ⑦ウエリスト【小/デ】
- ⑧社会福祉法人香聖会 宙(すばる)豊中【地/グ/小】
- ⑨庵とよなか庄本【有】
- ⑩エターナル緑地【有】

宝塚市

- ⑪宝塚清光苑【特/デ/グ/小/ケ/定】
- 芦屋市
- ⑫陽光苑【地/デ/グ】
- 西宮市
- ⑬パセム西宮【有】
- ⑭ケアプランセンター西宮清光苑

【特】特別養護老人ホーム 【地】地域密着型特別養護老人ホーム 【デ】デイサービス 【グ】グループホーム
【小】小規模多機能型居宅介護施設 【ケ】ケアプランセンター 【有】有料老人ホーム 【定】定期巡回サービス





経営方針発表会で
新入社員5名を紹介しました。

■ウエルグループの新入社員研修

従業員自身と

利用者様の幸せを

実現できる人材へ

ウエルグループでは毎年、新卒新入社員に対して、独自のプログラムを通して1ヶ月間の研修を実施しています。研修の講師を務める3人に、研修の内容や教育する上で大切にしていることなどをお聞きました。

1ヶ月間を通して 「観察眼」を育て



Q…新入社員研修の内容は？

A…最初の2週間でウエルグループの理念や社会人としての心構えを学んだ後、介護に関する知識を座学や実習、グループワークを通して身につけます。1ヶ月の研修の後にはそれぞれの現場に配属されますが、その後も定期的に集まって振り返りの研修を実施し、目標に対する進捗確認や悩みの相談などを通して成長をサポートしています。

Q…教育をする上で最も大切にしていることは？

A…根本にあるものは、「全従業員の物心両面の幸福の追求と福祉と教育を通じて六方

人への関心を高める さまざまな取り組み

Q…観察眼や気づきを養うためにどんなことを行なっていますか？

A…「無関心」を「関心」に変えるために、今年はグループワークの回数を増やしました。コロナ禍以降、オンラインの発達によって人



それぞれ10個ずつ立ててもらっています。例えば、3年後には介護福祉士の資格を取得する、そのためにどんな勉強をする」というように。全部で120個もあります。数を多くしているのは、真剣に考えてもらうため。適当に考えた目標はすぐに忘れてしまいますが、頭を悩ませ捻り出した答えは頭に残ります。真剣に将来設計をして、自ら目標達成に向かっていってほしいのです。この時に立てた目標は、事業所の管理者とも共有し、本人との面談時に進捗状況などを確認しています

ウエル清光会教育研修本部

研修講師が望む人材の姿



介護福祉士 高見 明子

介護現場では、「気づき」がなければ何も生まれません。例えば認知症の方に対しても、「この症状がどの認知症のタイプか」を考えるより、その方がどうして、何を思っているのかを行動を取ったのかを考え、相手が求める対応をすることが大切です。利用者様に対しても一緒に働く職員に対しても「なぜ」を考えられる人になってほしい。そこに気づくことができれば、自分が取るべき行動が分かり、素敵な介護ができる人材になれると思います。



介護福祉士 久田 めぐみ

利用者様によってケアやアプローチの仕方は異なります。最初は先輩から教わることを着実に覚え、理解することが目標になりますが、長期的には、今関わっている利用者様のニーズとウォンツに応えるためにもっとできることがあるのではないかと積極的に考えられる人材に育ってほしいと思います。私たちも、従業員自らの将来と利用者様の幸せを実現するための人材育成とは何かを常に模索し、ベストを尽くします。



統括責任者 高橋 秀政

新入社員研修の後には、3ヶ月研修、半年後研修で、最初に立てた目標に対する達成度を確認します。その時には、私から導かれるのではなく、自ら「こう思う」と発信できる積極性を持ってほしいと思います。つまり、相手をよく見て何が求められているかを理解し、行動してほしいのです。そのために、研修を通して、見る力、聞く力、伝える力を育成していますし、実際に新入社員の皆さんの成長した姿を見ると、その力が1ヶ月の成果として現れていると感じます。

Q…今後も優れた人材を育成するために、教育研修部として取り組んでいることは？
A…定期的に現場に足を運んで介護の現場を見て、教育方法を見直すことを大切にしています。また、大学の先生や研究機関とも直接の対話を通じて情報の共有・収集を行い、それを現場への教育に落とし込んでいます。特に認知症については、教科書の内容だけではなく、通用しないケースも多いもの。密に情報交換しながら私たちが考え方をアップデートし続けています。

